

令和元年 8月 2日
岐阜県立飛騨高山高等学校
国土交通省高山国道事務所

ビオトープ“飛騨の森再生”における外来生物防除 ～飛騨高山高校の3年生とオオハンゴンソウ、フランスギクの防除を実施します～

1. 概要 : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。
今年度3回目の実施になる今回は、ビオトープ内で成長している外来生物（オオハンゴンソウ、フランスギク）の防除を行い、生育環境の保全を図ります。
2. 日時 : 令和元年 8月 6日（火）10:00～12:00
【雨天中止】
3. 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
4. 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 3年生6名
5. 添付資料 : 別紙1～3のとおり
6. 配布先 : 高山記者クラブ
7. 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
環境科学科 原 康彰（はら やすあき）
TEL 0577-33-1060
FAX 0577-32-8994

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
計画課長 大崎 義保（おおさき よしやす）
TEL 0577-36-3822
FAX 0577-36-3801



PRポイント

地元高校生が課外授業の一環として生態系被害防止外来種リスト掲載種の駆除に挑みます。これまでの活動で「ハリエンジュ」を根絶できたため、今回は同じくリスト掲載種の「オオハンゴンソウ」「フランスギク」の駆除を行い、生態系の一層の保全を図ります。

学習内容

今年度3回目となる実習は、環境科学科3年生6人が参加して、ビオトープ内の在来種保護のため、生態系被害防止外来種リスト（平成27年3月発表）に掲載されている「オオハンゴンソウ」と「フランスギク」を防除します。



オオハンゴンソウ



フランスギク

①オオハンゴンソウの防除

北アメリカ原産のオオハンゴンソウは、種子による繁殖が旺盛で成長が早いうえ、伐採してもすぐ萌芽して再生します。そのためビオトープ内の在来種と競合し駆逐してしまう可能性があることから、根から掘り出し処分します。

なお、同じく生態系被害防止外来種リストに掲載されている「ハリエンジュ」は、生徒による4年間（H24～27）の継続的な防除により、根絶することができました。

昨年度の学習状況（平成30年8月2日実施）



【オオハンゴンソウの防除作業（根を残さないよう掘り出します）】



【防除したオオハンゴンソウ】

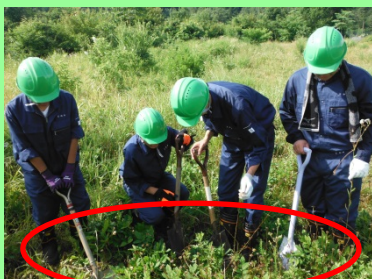
②フランスギクの防除

ヨーロッパ原産のフランスギクは、種子と根で繁殖するため繁殖力が強い上に寒さにも強いので、一度侵入すると速い速度で繁殖します。こちらもオオハンゴンソウと同じく、種子が落ちる前に根を残さないよう掘り出し処分します。

昨年度の学習状況（平成30年7月13日実施）



【フランスギクの防除作業（根を残さないよう掘り出します）】



【防除したフランスギク】

高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

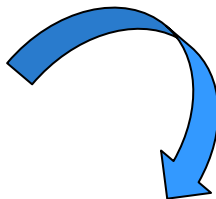
ビオトープ“飛驒の森再生”整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性があります。そのため、インターチェンジ内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。



整備直後(H16. 11)



現在の生育状況(R1. 5)

現在のビオトープの状況

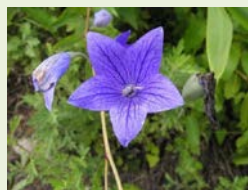
完成してから15カ年が経過した調整池を含むインターチェンジ内の環境は大きく改善し、ビオトープに移植した根株・貴重植物ともに生育状況は良好です。また、周辺域から在来種も入り、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（トンボやバッタ）などの定着も順調に進み、生物の多様化が進んでいます。

また、同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

確認された重要種など

陸

域



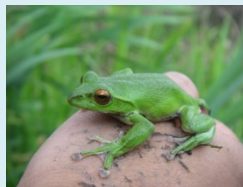
移植した重要種
(キキョウ)



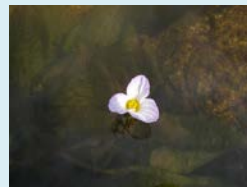
確認された重要種
(マルタンヤンマ)

水

域



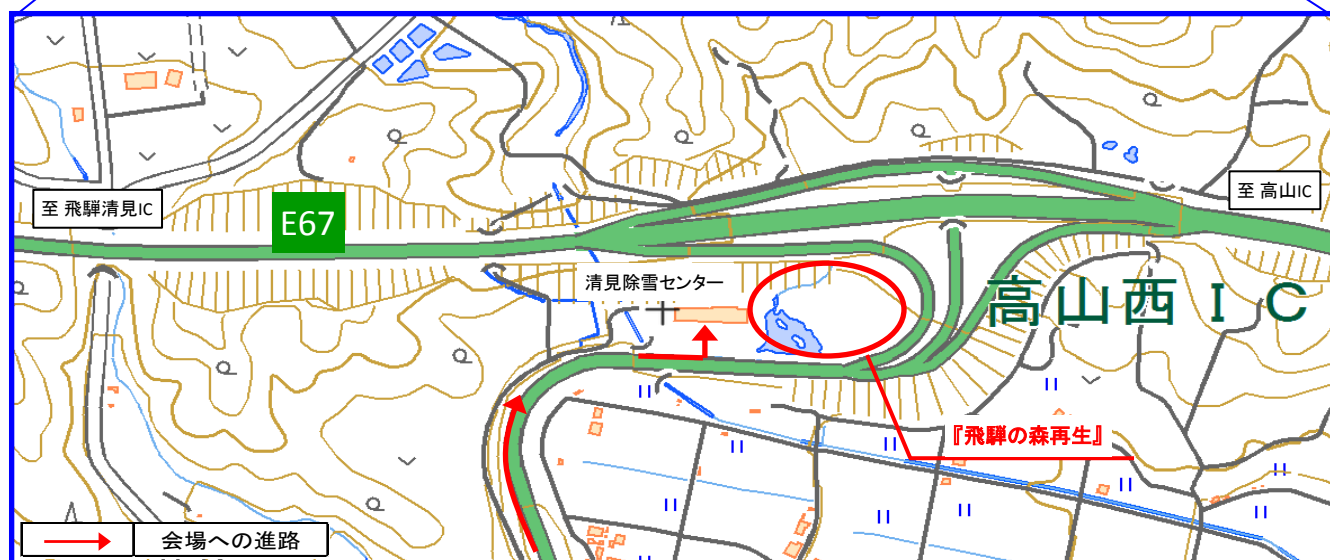
確認された重要種
(モリアオガエル)



確認された重要種
(ミズオオバコ)

環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内 ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望がございましたら清見除雪センターにお集まり下さい。